

こんなことします！（活動計画）

●ボランティア研修会

2月22日(土)に3回目となるボランティア研修会を行います。子どもたちの特性を理解し、より良い支援の方法を確立することを目的に、従来の支援の仕方の更なるブラッシュアップを図ります。ひまわりでは研修会を月に1回開催し、子どもたちへの支援力の向上を図っています。

●ヨガ教室

ひまわりの専門部会のひとつ「鍼灸、アロマ、ヨガ部会」が主体となって、月に1度、近くの施設を使用してヨガ教室を開催しています。ボランティア、保護者、子どもたちが参加してヨガを行い健康につながるものです。

●地域巡りと地域理解研修

2月下旬に、みどりの学校ひまわりがある青葉区しらとり台をより深く理解し、新たな魅力を発見することを目的として「地域巡りと地域理解研修」を行います。校舎を出て地域を学びの場にするのは初の試みです。

●ふれあいレストラン

ひまわりでは月1回、「ひまわりふれあいレストラン」を開催しています。

ボランティアや保護者らで調理して、みんなでわいわいと会食する楽しいランチタイムとなっています。次回のメニューは「豚汁」「おにぎり」「缶詰おかず」「フルーツポンチ」などを予定しています。

なお、ひまわりふれあいレストランは、フードバンクかながわの協力を得て実施しています。



ひまわりふれあいレストラン調理風景

ボランティアの先生を紹介します

VOL
28

土志田 博子先生

笑顔が素敵な土志田先生は、地元青葉区にお住まいです。大学生と高校生の二人のお子さんのお母さんでもあり、地元では民生委員として地域のために広範な活動をしておられます。ひまわりでのボランティアのきっかけは本校の校長の講演を聴いた知人からの情報によるとのことでした。

土志田先生の子ども達への接し方は、「公平」「先入観を持たない」「否定をしない」です。子ども達の個性や現状を即座に把握して支援する姿は周囲からも好評です。そんな先生は今日も子ども達から大人気です。今後の抱負は「もっと子ども達の気持ちに寄り添いたい」とのこと。先生の今後のご活躍を期待します。

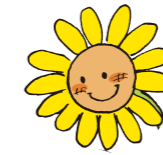
東京都出身、趣味はウォーキング

ひまわりの各コースと現況

- 通学制 開校日：月・水・金・土 / 10時～14時30分（ひまわり学園 9:00～12:10）
- 通信制 オンラインを通してゲームから学習支援までひまわり目線の支援を行います。支援時間と内容は、本人と相談の上で行います。
- 現況 生徒数：（約）60名 / ボランティア：（約）20名
時程：9時開門（学習）、12時10分昼食（食後レク）、12時55分（校長タイム）、1時20分（フィールドタイム）、2時半（帰りの会）（下校）

みどりの学校ひまわり / 〒227-0054 横浜市青葉区しらとり台 80 問い合わせ先 090-9201-3992（渡辺）

ボランティアスクール
「横浜みどりの学校ひまわり」



ふれあい

学校だより 2025年2月号 No.69

こんな学校があってもいいかも
（既存の教育にとられない学校）

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール（私塾）です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育」などを掲げて、13年前に開設されました。

子どもの個性と生き方を考える — 教育職人の一考察 —

校長 渡辺 正彦

新しい年がスタートしました。

今年もきっと子ども達の支援に明け暮れるのであろうと考える、自分に与えられたこのような仕事に対して無限の感謝をせすにはられません。これも地域の皆様をはじめ、多くの支援者の皆様のお陰と感謝を申し上げます。

この世に生を受けて誕生した子ども達は誰もが素晴らしい個性を持っています。

例えその個性が社会に適合しようが、少しばかり適合が困難であろうが、それは生まれてきた子どもの責任ではありません。この社会で生まれてきた子ども達の個性が認められ、子ども達が生きがいを実感する社会を構築することこそが先輩である大人達の使命なのだと思います。

学校という先人が作った教育制度にうまく適合できない子ども達に対して、適合できるように支援したり、学校とは別の方法で教育目標の達成を試みるのが我々「横浜みどりの学校ひまわり」の使命です。

学校に上手く適合できない個性の子ども達とは、どんな子ども達でしょうか。

①学校に拘束感を抱いている、②学校の騒音、臭い、多人数に耐えられない、③人との関わりが苦手、④自分が友達からどのように思われているか気になる、⑤自分や他人への妥協が苦手である、⑥学校の勉強に意味を感じない、⑦学校での幅広い勉強より、自分の興味・関心のあることを深く勉強したい、⑧「書く」「計算する」といった特定の分野が苦手である、などの様々な個性を有する子ども達です。学校適合に今難感を示し不登校になりがちの子ども達の特徴は、その多くが高いIQ（知能指数）を有していると言う事です。せっかく持って生まれた「天賦の才能」が現行の教育制度の中では活かす事ができずに不登校や自尊感情の低下から社会不安やひきこもりになるケースが多くあります。

価値観が多様化する中であって高知能・高能力の子ども達を理解し、適切に支援して将来の社会的戦力に育てあげる事はとても大切な事です。本校は学校と共に子ども達の学校適合や復帰を支援する一方で、子ども達の個性を尊重して本校独自の教育手法での教育実践に挑戦したいと思います。そのためには、先ず子ども達にリベラルアーツの視点から各種の体験を試みさせて、自分の興味・関心を再認識させた後に自分にとって最も興味・関心のある分野について学習に取り組むようにしたいと思います。「農業と害虫の共存」「ひまわり版ファーブル昆虫記の執筆」「ホロコーストの研究」「鶏催眠術の研究」「野良猫の観察と心理」「東名高速道路下の水路のドジョウの生態」「アラビア語学習」「絶対音感調べ」「プロゲーマーへの道」等、過去の子どもの興味・関心を参考に「教育職人」がそれらをコーディネートしながら真の教育に繋がりたいと思います。

明治の「学制」以来の伝統的なわが国の教育を尊重しながらも、独自の価値観や感性を持つマイノリティの子ども達への支援の視点からブレないように心していきたいと思ひます。

こんなことしました! (活動報告)

クリスマス会

12月21日に、少し早いクリスマス会を開催しました。子どもたちは、スマブラゲームやビンゴ大会を楽しみ、賑やかな時間を過ごしました。この日のランチはふれあいレストランによるチキンカレーなどが子どもたちに振る舞われました。午後は子ども参加の手作りのケーキでクリスマス気分を盛り上げたり保護者サンタさんによるプレゼント交換で、子どもたちの笑顔の耐えないクリスマス会となりました。



集合写真



ビンゴ



プレゼント交換会



子ども料理教室

1月8日に子どもたちを主体とした「こども料理教室」を開きました。

子どもたちは、なれない調理作業にも臆することなく、焼きそばづくりに取り組みました。出来上がった焼きそばをいただくなど、子どもたちにとって初の挑戦は楽しい体験となりました。

学校で悩んでいる子どもを応援します

人間関係が苦手、学校が合わない、不登校気味、学力不振、学習に集中できないなどの子どもたちを積極的に支援します。支援者は現役教師、塾指導者、臨床心理士など様々です。それぞれの専門分野から子どもに合った支援をします。活動費として月1000円から3000円で運営しています。体験期間の2週間は無料です。

お問い合わせは TEL 090-9201-3992 渡辺まで



本校の事業は、赤い羽根共同募金を財源とした青葉区社会福祉協議会の「あおばふれあい助成金」の配分を受けて活動しています。



どんど焼き

1月11日、新年恒例のイベントさつきが丘小学校「郷土史の会」が主催する第15回「下台のどんど焼き」が開催されました。

ひまわりは今年も後援団体として参加し、バザーや焼きそば、フランクフルト、玉こんにゃくの販売などを行い会場を盛り上げました。

また、クレーンゲームや瓢箪のペイント体験&販売は子どもたちに好評で、夢中で楽しむ姿が見られました。ひまわり農園の白菜などの野菜販売なども喜ばれ、多くの来場者に楽しいひとときを提供いたしました。



クレーンゲーム



焼きそば



白菜販売



ひょうたん塗り



バザーコーナー

ひまわりでは ボランティアを募集しています

活動日 月・水・金・土曜日 午前10時～午後2時30分
(週1回、午前・午後だけでも可能)

- 活動内容 ●子どもの見守り ●学習指導
●農業体験・にわとりの世話
●保護者・子どものカウンセリング など



お問い合わせ先 TEL 090-9201-3992 渡辺

最新情報は HP から

